

■日程：2024年6月12日（水）～6月15日（土）

■ボランティア参加者数：15名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
6月13日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋公民館	5名
6月13日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	27名
6月13日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	15名
6月14日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	55名
6月14日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会施設	36名
6月14日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	40名

■被災者の声（主なもの）

- ・ 買い出しは週一回分購入する。兜に魚屋さんがあるので、助かっている。
- ・ 病院が毎日開いていたが、地震後一旦閉まり今は週2回になった。
- ・ 震災の時にたくさんの仏像が倒れて壊れたので、写真を頼りにコツコツ補修している。乾かすために床に並べておいたが、先週の地震でまた壊れてしまったので今は寝かせて置いている。
- ・ 仮設のお家に同じ花を置いている。花が一番よい。
- ・ コシヒカリとノトヒカリを作っていたが、水路が直ってなくて田んぼに水が引けないから今年は田植えをあきらめた。
- ・ 仮設住宅は暑くて、風通しが良くない。防犯対策で施錠をするよう注意されるが、室外機の熱風がきて暑くて締めきれない。
- ・ これから災害ごみを捨てに行くところ。何遍やっても減らなくて大変。
- ・ 家が全壊して早く解体してほしいけど道路側に倒れてないからまだ撤去してもらえない。母が壊れた家を見て毎日泣いている。
- ・ 畑はシカやイノシシの被害が多くて大変。電気柵などで対策している。
- ・ 阪神大震災の時に被災したお友達から「自分たちも復興できたので、必ず復興できるから頑張ってください」と励ましのメッセージをもらってとても勇気がわいた。
- ・ まさか自分が被災するとは、支援を受ける側になるとは思ってもいなかった。東京から来てくれて大変ありがたい。このことは絶対忘れない。自分も必ず返せるように頑張ります。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・ 震災当時の話より今の話を聞くことが増えた。庭に植えたい花や野菜話とかこれからやりたいことを話してくれた。
- ・ 地区の住民の方々全体でボランティアを受け入れてくれているような優しさを感じた。
- ・ 囲碁や将棋大会物づくりなど男性の方が参加しやすくなるようなプログラムがあるとよいと思う。

